

ご挨拶

「共生（ともうみ）のまちづくり」

小さな対話を積み重ね、
市民の皆様と共に新しいものを生み出していくまちづくり

本市を取り巻く環境は、急速に進む人口減少、少子高齢化、インフラの老朽化、気候変動、デジタル化の加速、産業構造の転換といった多くの課題を抱えており、複雑かつ多様化している新たな地域課題や市民ニーズに対して、行政だけでなく、市民や専門家など多くの皆様と共に、新しい解決の形を生み出していくことが必要であると考えております。



このような状況の中、新たな時代にふさわしいまちづくりの方向性を明らかにし、持続可能で魅力ある地域社会の実現を目指す最上位計画として、「第7次焼津市総合計画」を策定しました。

本計画では、時代の潮流とまちづくりの課題についての的確に捉えて対応するため、「DX・GXの推進」「地域経済循環の促進」「地域共生の創出」「人口減少対策の推進」の4つの横断的視点を取り入れるとともに、7つの政策と26の施策を個別に展開しつつも、相互に補完しあいながら重層的な体制で取り組んでまいります。

本年、焼津市は市制施行75周年という大きな節目の年を迎えます。現在に至るまで、先人のたゆまぬ努力と、市民の皆様の方強い歩みにより、全国屈指の水産都市として発展を遂げてまいりました。

これまで培ってきた特有・独自の焼津文化や自然豊かな環境、温かな地域の繋がりなどの魅力を積極的に発信していくとともに、次の世代へしっかりと受け継ぎ、地域・団体・企業の皆様とこれまで以上に小さな対話を積み重ねることで、支え合い、感謝し合い、笑顔あふれる安心・安全なまちをつくっていきたくと考えておりますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり貴重なご意見・ご提案をいただきました市民の皆様をはじめ、熱心に議論をしていただきました焼津市総合計画等審議会委員の皆様に対し、改めて心から感謝申し上げます。

令和8年3月 焼津市長

中野弘道

